令和７年第２回長泉町議会定例会　一般質問予定者一覧

令和７年６月５日(木)午前10時開議

日程第１．一般質問

質問順位１　石川 美穂 議員

質　問　内　容
１．不登校児の支援強化と子どもの居場所・拠点づくりを （１）不登校児童生徒の人数の推移と、それに対する見解は。 （２）不登校の兆候にある児童生徒からの相談できるタブレット端末を活用した悩みや相談への対応は。また、専門機関などへどのようにつないでいるのか。 （３）不登校の子どもに学校の様子を動画等で伝えるタブレット端末の活用状況など、ＩＣＴを活用した学習支援で不登校及び別室登校やいずみ教室の児童生徒に対して、すべての教室と家庭をオンラインでつないで授業に参加できるようになっているのか。 （４）教育支援センターいずみ教室を必要としている児童生徒への寄り添い方など、見えてきた課題をどのように今後に生かしていくのか。児童生徒理解・支援シートを活用し組織的・計画的支援として一人一人に対して個別指導計画を。また、不登校児にみられる起立性調節障害対応のガイドライン策定を。 （５）不登校児童生徒を持つ保護者が孤立しないような相談体制や学校も関わりながら保護者同士が集え、悩みを共有できる場を。 （６）第３期長泉町子ども・子育て支援事業計画が策定されたが、子ども・子育て会議において、当事者である親の会や子育て支援団体などの声を共有し、その声を反映できないか。 （７）不登校から長期の引きこもりにつながる事態を防ぐ取組として、教育支援センター機能も含め、中学校卒業以降の支援体制の考えは。 （８）引きこもりとならない支援として、社会とのつながりを絶やさないための対応として学校や家庭に生きづらさを抱えている子どもたちのつながれる場所・居場所の拠点づくりを。 **２．学校現場における不審者侵入に対する防犯対策を** （１）５月８日に立川市の小学校で男性２人が教員ら５人を殴ったとして現行犯逮捕された事件やこれまでたびたび起こる校内への侵入事案。学校現場で起きたこのような事件をどう捉えているのか。教育委員会の見解は。 （２）現在行われている小学校の不審者対策として防犯カメラ・さすまた・ネットランチャーなどがあるが、どこに設置されているのか。学校の防犯対策の整備状況は。その他の対策には何があるのか。 （３）子どもたちの安全のための避難経路の確認、迅速に逃がす誘導や危機を回避できるよう侵入者対策としての訓練や防犯教育はどのように行われているのか。また、想定されていない新たな安全上の課題の出現に応じて学校の危機管理マニュアルは柔軟に見直す必要がある。見直し、改善はどのようにされてきたのか伺う。 （４）不審者侵入防止対策の取組として防犯カメラ、腕章、受付での確認はされていると思うが、それをすりぬけ、校内に侵入した不審者に対し、子どもたちや教職員の身を守るための新たな対策を。

質問順位２　安田 三津子 議員

質　問　内　容
１．住民生活環境の充実を （１）ベルフォーレの改修工事はいつからか。また、その期間は。習い事などの教室の利用者への対応は。 （２）工事完了後トイレは洋式になるのか。また、コミュニティながいずみのトイレの改修計画は。 （３）避難所のトイレの設営場所について。また、仮設トイレは洋式か。 （４）施設としての管理者である教育委員会では必要性は充分理解していると思うが、避難所として南小学校、北中学校の体育館に空調設備を。 （５）役場庁舎を含む公共施設のフリーWi-Fi の現在の状況とフリーWi-Fi の必要性をどう考えているのか。 （６）役場庁舎一階にウォーターサーバーの設置を。 （７）今年度から敬老祝い金の振り込みも選択できるようになるが、手続きの方法と振り込み期間は。

質問順位３　内田 幸英 議員

質　問　内　容

1．障がいのある人のスポーツ機会の創出を

（１）町内の障がいのある人のスポーツ環境や各種状況、対策と支援策は

①障がいのある人のスポーツにおける本町の現状と、障がいの種類や程度に配慮した障がいのある人へのスポーツに対する町の取組状況を伺う。

②更なる障がいのある人へのスポーツの推進と活動機会の提供を目指し、各種障がいのある方に対して県や関係機関と連携し、障がいのある人がスポーツを楽しむ場の機会の創出や障がい者スポーツ講習会や講演会等を実施すべきと提案するが見解を伺う。

③当町の人口１万人あたりのスポーツ推進委員数は 2.75 人と近隣市町や静岡県全体と比較しても少ない方だが、町の障がい者スポーツ推進指導員（初級・中級・上級）の人数を伺うとともに、障がい者スポーツ指導員等の更なる人員拡充や活動支援、処遇改善をすべきと提案するが見解を伺う。

④県や関係機関と連携し、町内から全国障害者スポーツ大会やパラリンピック出場者の輩出や活躍する選手の育成を目指し、競技力向上を目指し取り組むべきと提案するが見解を伺う。

⑤町内の各スポーツ施設を何らかの障がい者競技の聖地化ができないか可能性を伺うとともに、障がい者スポーツを軸とした更なる多様性の推進による、多様な人たちが世代・性別・障がいの有無などの違いを超えて、運動やスポーツを一緒に楽しめる機会の創出をすべきと提案するが見解を伺う。

⑥健康公園や桃沢野外活動センター等を活用し、大会や合宿の誘致とパラスポーツ教育に力を入れ長泉町をパラ合宿の聖地にすべきと提案するとともに、桃沢野外活動センター宿泊棟を更なるユニバーサルデザインやバリアフリー化すべきと提案するが見解を伺う。

２．鮎壺公園を活用した観光交流及び下土狩駅周辺の活性化の構想は

（１）下土狩駅前広場供用開始後の利用状況は、また下土狩駅前広場を起点とした賑わいづくりの創出を

①下土狩駅前広場整備のコンセプトとその目的を伺う。

②夕方と夜間の一部時間帯において、下土狩駅前広場ロータリー内や周辺道路への路上駐車が増え交通の妨げになることがあり、町としても対策すべきと提案するが見解を伺う。

③下土狩駅前防犯立寄所が撤去されたが、駅前の治安対策に問題はないと考えるのか見解を伺うとともに、防犯立寄所撤去後に町として実施している具体的な治安対策を伺う。

④下土狩駅前防犯立寄所が撤去され空き地ができたが、空き地周辺に「日差しや雨風がしのげ、冷暖房完備」快適に過ごせる簡易な待合室の設置を再度提案するが見解を伺う。

⑤下土狩駅前広場や下土狩駅周辺地区でホームレスの方が路上生活をしているが、寄せられている意見を伺うとともに、長泉町として何らかの支援はできないものか見解を伺う。

⑥下土狩駅前広場が供用開始されたことにより、駅前広場を起点に夜間にイベントを実施し夜の賑わいの創出にも取り組むべきと提案するが見解を伺う。

（２）鮎壺公園開園後の利用状況は、また鮎壺公園を起点とした賑わいづくりの創出を

①令和７年３月９日に鮎壺公園が開園し、約３か月経過しようとしているが、利用者数の把握はできているのか。また、週末にはキッチンカーなどが出店し、にぎわいづくりを演出していただいているが、現在、町に登録している出店者数を伺う。

②鮎壺公園開園後に寄せられた、町民や公園利用者から届いている主な声や意見と対策を伺う。

③鮎壺公園内に実施した日除けや熱中症対策を伺うとともに、園内各所に日除けができる休憩スペースの増設をすべきと提案するが見解を伺う。

④特に土日祝日の場合は駐車場への入園待が長時間にわたり起きているが、公園駐車場に入る前に満車の確認ができるように駐車場対策をすべきと提案するが見解を伺う。

⑤平日と土日祝日における公園利用者数は想定の範囲内か伺うとともに、更なる来園者数を増やす努力や対策を行い、キッチンカー出店者やテント出店者が平日に出店しても成り立つ公園を目指し、にぎわいの創出をしていくべきと提案するが見解を伺う。

⑥鮎壺公園に来園した方に対して近隣の店舗へ少しでも誘導したいと考えるが、町内での消費を喚起し町内経済活

性や下土狩駅周辺に人が流れ活性化するような仕組みづくりをすべきと提案するが見解を伺う。

質問順位４　堀内 浩 議員

質　問　内　容

１．全国的に減る事のない「いじめ」の対応策は

（１）長泉町における小中学校での「いじめ」の現状とその対応策、さらに、平時からいじめに対する指導・教育をどのように行っているのか伺う。

（２）いじめへの対応策は

被害児童・生徒への直接対応、加害児童・生徒への指導・支援、学校全体で「いじめ」をなくす環境づくりと再発防

止体制の整備が考えられる。一向に減ることのない「いじめ」に対し、現状の対策と併せた新たな取組が必要と考える。文科省が薦める「いじめ対策マイスター」もその一つである。警察ＯＢ、校長経験者や保護司など複数の専門家が対策チームとして、学校・教育委員会への支援・助言を行うことができる「いじめ対策マイスター」の配置と「いじめ未然防止教育」が必要と考えるが、町の見解を伺う。

２．地方自治体が目指すコンパクトシティへの考えは

（１）コンパクトシティの課題として公共交通のあり方が求められている。町が目指す公共交通の未来図は。

全国自治体は、人口減少傾向による財政の縮小が予想されるなか、行政サービスの効率化や財政支出の抑制などを進める「コンパクトシティ」に取り組む自治体が増えている。コンパクトシティは、公共施設の再配置や集約化などにより、公的サービスの効率化、徒歩や公共交通による移動など、住民にとっても「住みやすい街」になると言われている。しかし、コンパクトシティには大きな課題がある。それは集約化から外れた地域への対応策であり、そのためにも公共交通のあり方が求められる。町が進める「ＡＩオンデマンドバス交通実証事業」はどのようなコンセプトをもっての事業なのか、また利用者拡大に向けた取組があるのか伺う。

（２）当町の面積、人口、居住地域、公共施設の配置などコンパクトシティの形態が成立しているのではと個人的に考えている。この状況のなかで、住民が住んで良かったと思える街にしていくためにも公共交通の充実は欠かせないものである。実証運転後の本格運行を求めるとともに、全町を網羅した停留所の配置と鉄道、コミュニティバス、路線バスとの連携を十分に考慮した町独自の公共交通網を実施してはどうかと思うが町の考えを問う。

３．災害から住民を守る

（１）災害発生時における避難所等との通信確保と相互交信の手立ては能登半島の災害を契機として、今後の大規模災害発生時における避難所等の通信確保のため指定避難所等への衛星インターネット機器等の新技術の導入が望まれる。技術の進展に応じた新しい通信サービス・機器について、その迅速な立

ち上げと継続的な運営を地域が自ら円滑に行えるよう、新しい通信技術に関する訓練（機器の設置・設定の維持・管理）を終了した方や無線従事者など、地域ごとに無線技術に知見のある方を中心とする通信復旧チームを配置し、発災後に通信設備の被災状況把握や通信環境確保等を迅速かつ継続的に取り組むべきと考えるが町の見解を伺う。

（２）災害発生後の正確な情報は、避難者にとって重要なものであり、その後の行動を判断するものとなる。これは避難所においても同様であり、その情報収集のルートとして「Ｌアラート」がある。平成 31 年４月より全都道府県において、この運用が開始されている。町が運用状況において近隣地域との共通の情報入力によって、情報の適切な管理と活用につながる。情報入力の手順などのガイドラインがあるのか、また、県との情報入力についてどのような取り決めとなっているのか伺う。

（３）災害が発生し家屋等が被害を受け、町が指定する避難所に避難する。これが通常の避難行動だが、当町では災害が発生しても家屋に被害を受けることなく自宅を避難場所として使えるように耐震化を推進している。県と一体になり昭和 56 年５月 31 日以前に建築され、耐震性が低いと診断された木造住宅などの耐震化補助事業「TOUKAI-0」を推進し、町民の生命・財産を守る取組をしてきた。これまでの「旧耐震基準」による耐震補強の状況と対象家屋の今後について伺う。

（４）当町では、2024 年１月に発生した「能登半島地震」において、1981 年６月から 2000 年５月までの「新耐震基準」を満たす木造住宅にも被害が及んだ現地の実情を目の当たりにし、町内で対象となる木造住宅約 2,600 戸に対し、

2025年1月より耐震診断、工事の費用補助が始まっている。今年度5月までの現状と今後について伺う。

（5）近年の地震の傾向にもあるように、複数回の大きな揺れに対し、「耐力壁」に損傷がなく、持ちこたえることが建物の倒壊を最小限度に抑えることができる。従来の木造住宅は、地震などの外力を「耐力壁」という壁を設けることで建物を支えていたが、想定外の巨大地震や繰り返しの地震によってダメージが蓄積され、その耐震性能が低減されることが推測される。そこで、地震エネルギーを吸収し「耐力壁」を保護する「制振」工法が注目を浴びている。耐震工法には「耐震」「制振（制震）」「免震」などがあるが、コストを考慮すると「耐震」か「制振（制震）」が耐震補強の選択になると思うが、であるならば、地震力を吸収し「耐力壁」保護につながる「制振（制震）」を推奨していくことが貴重な財源を有効に使い、なおかつ住民の生命・財産を守る最良の取組と考えるが、町の見解を伺う。

質問順位５　若林　徹 議員

質　問　内　容

１．教育現場でのトラブル及び学校の防犯体制を問う

東京都立川市の小学校で不審者２人が侵入し教室で暴れ、取り押さえようとした教職員が５人がけがをし、駆けつけた警察官に現行犯逮捕された。また、平成１３年に起きた大阪教育大学教育学部付属池田小学校で２３人が殺傷された事件である。教育現場で起こってはならない事件であり、子どもたちの心のケアや先生方を守らなければならない。なぜ事件を未然に防ぐことはできなかったのか。当局の対策を伺う。

（１）かばってくれた先生が負傷し、流血している姿を目撃した児童たちの数も多く、多大なショックを受けていると想像できる。メンタルケアにはどのように対応するのか伺う。

（２）今回の事件は、保護者と教員と相談事がうまくまとまらず、学校への不満が引き金になったと言えそうだ。
二者間に入り相談事をまとめるにはどう対処するのか。その体制の強化が重要と考えるがいかがか。

（３）教職員へのケアもとても重要である。どう先生方をサポートし守っていくのか。

（４）教育現場で、児童生徒、保護者の相談件数は増えているのか。それぞれの相談の傾向は変わってきているのか伺う。

（５）児童生徒が安心して学校で過ごせるようにするには、学校のみならず、保護者や地域の関係機関、団体が連携しつつ安全管理を徹底することが重要である。今回のような事件を未然に防ぎ、事件を起こさないための取組について伺う。

（６）教員一人一人が力を発揮できる環境の整備について
時間外勤務の削減や業務量の軽減や教員不足はないのか、働き方改革の更なる推進など町の取組を伺う。

（７）スクールガードリーダーの配置は必要だと思うが、いかがか。

（８）学校施設は、地域住民にとって生涯学習の場であり、まちづくりの核であり、避難場所でもある。今後の町の対応を伺う。

令和７年６月６日(金)午前10時開議

日程第１．一般質問

質問順位１　長野 晋治 議員

質　問　内　容
１．災害時の避難所運営について （１）避難所開設までのフロー 一時避難地に集合後、自宅に居住困難な住民は公民館に移動。その後、公民館で受入れ困難な場合に指定避難所へ移動となっているが、誰がどういう基準で判断するのか。また、マニュアルでは指定避難所のグラウンドに集合してから体育館等の安全を確認し入室となっているが、指定避難所の安全と開設が確認されてから移動するべきではないか。そういった各自治体と町の災害対策時本部との連絡方法や連携は。 （２）避難所の組織について ①各自治会は公民館に自治会対策本部を設置。区長・副区長・協議員等による役割分担とその組織図が作成されている。指定避難所に住民が移動した後もそのまま残るのか。その理由は。 ②指定避難所では、複数の自治会の避難者がいる中で、災害対策本部を立ち上げる。避難者の中から本部長・副本部長・活動班の班長を選出しなければならないが、自治会の役員が公民館に留まっている中で、配備職員がいるとはいえ、役員の人選は難しい。指定避難所の街頭自治体が事前に協議し、役員候補を選出し、組織図を作成しておくべきではないか。 （３）避難所のトイレ使用について ①先ずすべてのトイレを一旦使用禁止にして、使用可能状況を確認する必要があるが、誰がどの時点で行うのか決めておくべきではないか。 ②各学校の防災倉庫の鍵はどこに保管しているか。 ③マンホールトイレ、仮設トイレ設置の場合 ア．動線、照明、雨、寒さの対応 イ．防犯（男女別の明確化） ウ．個数の検討 エ．長期化が予想される場合、容量を抑える オ．汚物を入れる袋、縛る紐、蓋付きのバケツ カ．掃除用のゴム手袋、消毒液 ア～エ　こうした検討事項をチェックシートにして自治会の事前の備えが必要ではないか。 オ～カ　防災倉庫の備品として町側が準備 また、訓練として学校の運動会等で仮設・マンホールトイレの設置と実際の使用を行ってはどうか。

質問順位２　　宮口 嘉隆

質　問　内　容

１．物価高騰　町独自の給付金を

（１）円安など物価高騰の要因は多々あり、米は２倍以上値上げするなど物価高騰は止まらず庶民の日々の暮らしは厳しい。現段階では、国は当てにならないが恒久的な対策に期待したい。非課税世帯には過去２回国からの給付金があったものの、線引きの 210 万円以上の中間層課税世帯も厳しく、町民は切り詰めた日常生活を強いられている。現行の企業への支援ももちろん大事であるが、今こそ町民世帯への手当てが必要。

①物価高騰は止まらず、町民の日常生活は不安定だが見解は。

②町は何か支援策を持っているのか。全世帯に物価高騰分の現金給付を。

２．蛍光灯製造禁止（2027）LED 照明器具設置の再補助を

（１）現在、中小企業の省エネ設備導入や、ZEH（ゼロ・エネルギー・ハウス）、サステナブル住宅など様々な省エネに補助金がある。LED 照明は蛍光灯に比べ省電力（７割節約）長寿命、脱炭素化で以前にも LED 照明の設置の補助を町民世帯に行った。蛍光灯は 2027 年に製造中止となる。需要が逼迫する前に、再補助を。

①庁舎、公共建物の町が所有する照明器具の数量は。そのうち LED 化の現状は何％か。

②優先的に予算確保をし、LED 化に着手を。

③町民世帯への LED 照明器具への再補助を。

３．地域の安心安全対応（路上生活者支援）

（１）いろいろな事情を抱えた路上生活者に対して、法的人権的に支援の伴わない排除は問題視され、強制的に立ち退かせることはできない。しかし、ごみ漁り、たばこの投げ捨て、屋外路上排泄行為、劣悪な衛生環境にある路上生活者。直接関係する地域住民は苦慮し不安を感じている。行政各課警察など関係者が努力されているが進展が見えない。地域の安心安全な環境づくりは行政の役目、町長の指示が必要な時期と考える。

①地域の安心安全と路上生活者支援への見解は。

②町が窓口となり健康に不安を抱える路上生活者対応と、関係機関と連携し巡回の実施や相談窓口設置等の対策が必要。

４．公共交通の最終、mobi 乗合型 AI オンデマンド交通サービス

（１）これまでの公共交通空白地帯へ交通手段の提供の努力には感謝しているが、残念ながら循環バス利用者は予想外の結果であった。令和８年１月までの３年間のデータと聞き取りで適否を。

①東西循環バス減便の根拠のデータ（便、時間、ルート、利用者の目的、行先など）と、時間の変更やバス停の椅子など利用者増への努力はあったか。

②時代の進行で循環バスではなくデマンドバス・タクシー、マイナンバーカードタクシーへの移行、特に事業費は現段階では大きいが現行の SPICEBOX が最終型にと思う中、会派研修での利府町版 mobi による乗合型 AI オンデマンド交通型を奨励する。事業者の協力で、7～8 人乗り３台での運行、SPICEBOX の進化版である。藤枝市も大手バスタクシーとの共同で既に運行している。システムや全てをゼロベースにした事業費の研究を提案する。

５．スケボー、バスケのストリートパークを

（１）オリンピックのスケボーでの活躍は目覚ましく、競技人口も増えつつある。選手も小中学生から２０代前半までの年代で金メダルを獲得する日本選手が多く、幼児期からのスケボーはブームになっている。公共施設駐車場などでスケボーをしている人を見かける一方、路面的にも安全的にも好ましくない場所で行う場面も見かける。

質　問　内　容
①新規や既存の公園で、スケボー、バスケのストリートパークの設置を。 **６．鮎壷公園管理運営について** （１）鮎壷公園ライトアップ、イルミネーション、夏場のミストシャワー、アイス販売などの要望がある。イベントや販売スペースの申込は管理者である観光交流協会ではなく工事管理課である。 ①申込方法は、電話、ネットでもよいのか。ハード面の管理は工事管理課が行うのが当然だが、ソフト面の管理を工事管理課、観光交流協会とわける理由は。観光交流協会はハロウィン、特産品紹介、旧ヴァンジ彫刻庭園美術館、町歩きなどのイベントや町の発信に努力している。 ②観光交流協会はハロウィン、特産品紹介、旧ヴァンジ彫刻庭園美術館、町歩きなどのイベントや町の発信に努力しており、ソフト面は全面的に観光交流協会に一任した方が自由な企画で楽しい公園になるのではないか。 **７．都市計画道路計画予定地の下水道と、周辺住民への指示は** （１）高田上土狩線周辺は、道路完成までに 10 年 20 年かかるであろうとされているが、下水道は整備されるのか。 ①周辺地域住民への下水道に関する指示が必要では。完成を待っての下水道か、合併浄化槽か、またこれからの道路等の方向性も含め説明が必要では **８．緑とカラーで景観のある管理しやすい歩道の整備を** （１）姫路は居心地がよく歩きたくなる町中整備をしていた。芦屋市はひとが通る空間を残し植樹で１８㎢の面積でコンパクトシティであった。既存のブロック舗装の課題は街路樹の根で凸凹に、段差に水たまり、メンテナンス廃棄が大変、型紙工法は、レンガ舗装のような見た目の歩道を型紙と塗装で実現するリリーフペイントで色柄は自由デザイン性も高いというものである。これからの新設・既存の歩道整備は、凸凹なく滑らかで耐久性もあり、重機不要で施工しやすく、メンテナンスも容易な型紙工法で、緑とカラーの景観のある管理しやすい歩道整備で目から癒しを感じるコンパクトシティに、型紙工法の研究と移行を。 **９．発雷注意報は広報で** （１）気候は温暖化の影響なのか、近年、運動場等への落雷により住民の生死に影響を与える痛ましい事故の報道をよく聞く。 ①雷注意報が発令されている場合に、屋外屋内にいる住民に油断を生じさせない注意喚起の広報の放送を。 **10．移動式エアコンで各体育館格差の解消** （１）温暖化の影響で年々異常な暑さになっている。快適な体育館での運動、災害時にも住民の健康を守るためにエアコンが必要であると考える。 ①町で管理されている体育館のエアコン設置の状況は。 ②移動式エアコンで各体育館格差の解消を。 ③防災事業の補助金の活用を。 **11．公用車ナビゲーターの必要性** （１）公用車の NHK 受信料の未払いが近隣市町で報道されているが。 ①町の NHK 受信料の未払いなどの状況は。外に出る公用車（町長議長防災消防）以外町内周辺でナビ付の必要性はないのでは。 ②公用車にカーナビの必要性と、設置されている公用車の状況と方向性は。

質問順位３　杉山 夏男 議員

質　問　内　容
１．静岡がんセンター周辺土地開発計画について （１）ファルマバレー（プロジェクト）構想について ①認識について。 ②企業誘致等で規制緩和や助成等の内容は。 ③活用（成果）は。 （２）構造改革特区について ①②③同上内容。 （３）総合特区について ①②③同上内容。 （４）2023 年 7 月に策定された医療田園都市構想について ①構想は東部 12 市町で構成され、それぞれの戦略が示されている。当町の戦略２に「自然環境を生かした公園整備」「暮らしやすく住み続けたい住環境」、「子ども医療費」、「保育料無料化の子育て支援」、「質の高い学びを実現する教育環境の充実」戦略３に「がんセンター周辺での事業用用地開発」、「企業立地支援策の拡充」、「幹線道路の整備による交通基盤強化」等の記述があるが、町の対応は。また現在進めている北部地域幹線道路計画（町道 873 号）は構想に沿ったものか。 ②東名インター線、或いは国道 246 号線から直接がんセンターに接し、南一色地区国内国道 246 号線迂回路ともなる新町道幹線が必要では。 **２．農業の活性について** （１）農業従事者の実態について ①町内 10 年間の農業従事者数の推移と遊休農地の実態と原因は。 ②関係者の意見掌握と問題点は。 ③農協、部農会等の見知は。 ④町の今後の施策は。

質問順位４　福田 明 議員

質　問　内　容

１．いのちと健康な生活を守るために

（１）熱中症と物価高騰対策

毎年の猛暑から住民の命と健康をどう守るかが喫緊の課題となっている。体温調整機能が低下している高齢者、持病のある人、乳幼児などには特別の配慮と注意が必要であり、家庭のエアコンが命綱となっており、熱中症対策が求められている。

①熱中症対策として、低所得世帯の高齢者を対象にエアコン購入費の助成ができないか。

②物価高騰対策として、低所得者に米価高騰支援として１万円を支給すること。

③活動の継続に苦慮している、こども食堂やフードバンクに支援をすること。

（２）職員の待遇改善について

①女性活躍法の基づく「長泉町特定事業主行動計画（第３次改訂版）」に掲げられている現状の目標設定について伺う。

②本町の女性課長が２名になった。女性の退職を減らし、女性幹部をさらに増やすための方策は。

③ワーク・ライフ・バランス「仕事と生活の調和」が叫ばれて久しいが、職場の残業は増えていないか、男性の育休は増えているのか、現状と対策について伺う。

（３）子育て・教育の充実について

①中学校教育において、ダンスが必修化され 10 年以上がたつが、これまでの成果をどのように捉えているか、また、ダンスの経験がある教職員が不足していると考えるが、今後どのように対応していくのか。

②子どもの育ちのためのスポーツ活動及び小学生の体力向上について

ア　近年、子どもの体力は低下傾向にある。文部科学省が昭和 39 年から行っている体力・運動能力調査によると、昭和 60 年ごろを境に子どもの走る力、投げる力、握力などは、全世代において低下の一途をたどっている。これは静岡県も同様である。体力向上のための取組が必要と考えるが、町の見解を問う。

（４）アートを生かしたまちづくりについて

①芸術系大学生やアーティストと連携し、まちづくりにアートの視点を取り入れてはどうか。芸術家は、既存の概念を超え新たな価値観を生み出す力を持ち、その創造性をまちづくりに生かすことで、地域の魅力向上や課題解決につながる可能性がある。学生やアーティストによるアートプロジェクトの企画、公共空間のデザイン協力、地域住民との協働による創作活動などが考えられるが、町の見解を伺う。

②アートは単なる装飾ではなく、施設の品格を高め、利用者の意識や空間の価値を向上させる効果を持つ。また、パブリックアートは、都市の魅力向上や地域活性化の手法として有効であると考えられる。今後の新規事業や公園・広場・道路でのアートの活用について見解を伺う。

質問順位５　大沼 正明 議員

質　問　内　容

１．富士山噴火火山灰と地域防災について伺う

（１）火山灰の処理方法について

①長泉町災害廃棄物処理計画の「表１－４災害廃棄物」に火山灰は記載されていない。法令上の火山灰の取扱は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律における廃棄物に該当しない。また、火山灰は自然物のため、土壌汚染対策法の対象外となる。大量の火山灰の処理は町だけでは難しく国や県、関係省庁との連携が必要である。今後、検討される火山灰の処理についてタイムラインを伺う。

②これまでの例では、火山灰は捨て土として処理している自治体があるようだ。火山灰にはガラス繊維が含まれているとされている。火山灰の回収には住民の協力が必要となる。町指定のごみ袋を使用してよいのか、また町内一斉の河川清掃のように土嚢袋の配布を考えているのか。長泉町災害廃棄物処理計画では、震災ごみの仮置き場は、災害発生後に初めて検討し設置するのではなく、あらかじめ候補地や配置、必要面積を検討し、災害発生時にスムーズな運用が行えるようにしておく必要があるとしている。火山灰仮集積場所や火山灰の回収方法について町の考えを伺う。

③火山灰は一般的なほこりと違って、とがった結晶質の構造をしていて、あらゆる場所に入り込み、エアコンの室外機やコンピュータなどの故障の原因になる可能性があり、住民生活に影響する。公共施設における火山灰対策を今後どのようにする考えなのか伺う。

④火山灰を処理するとき水で流すのは厳禁とされている。火山灰は水を含むと固まりやすく、排水溝を詰まらせ下水処理施設を痛める。自動車や庭に積もった火山灰を水で洗い流すことは簡単ですが、火山灰を側溝に流さないルールの周知が必要。町の考えを伺う。

（２）地域防災について

①伝統ある長泉町消防団第４分団が活動を休止したと伺った。活動休止に至った経緯を伺う。また、活動再開の見込みについて伺う。

②活動休止中のポンプ車や資機材の保守点検はどのように行うのか。また、消防団不在となった空白域の地域防災をどのようにする考えなのか伺う。

③今年３月、裾野市がトイレトラックの導入を発表した。以前近隣市町と広域導入を提言している。今が機会と捉えるが町の考えを伺う。